

日本植物分類学会第14回大会(2015.3.6-8)

事前配布プログラム 20150302版

日程概要

3月5日(木)	14:00 編集委員会, 16:00 評議員会
3月6日(金)	8:00 ポスター会場開場 8:30 受付開始 9:00 口頭発表(大会発表賞エントリー者) 12:50 ランチョンセミナー 17:15 ポスターセッション1日目(～19:00)
3月7日(土)	8:00 ポスター会場開場 8:30 受付開始 8:45 口頭発表(一般) 12:20 ランチョンセミナー 13:45 学会賞授与式 14:00 受賞記念講演 15:50 総会 17:00 ポスターセッション2日目 18:30 懇親会(福島大学生協)(～20:30)
3月8日(日)	8:00 ポスター会場開場 8:30 受付開始 8:45 口頭発表(一般) 13:05 ランチョンセミナー 13:30 公開シンポジウム

口頭発表時間割詳細

(*は発表者, ☆は大会発表賞エントリー, ▼は求職中)

3月6日(金)

【座長 奥山雄大】

9:00-9:15 1a01☆ *中嶋玲菜¹・▼下川悟史¹・加藤英寿¹・村上哲明¹(¹首都大・牧野) 伊豆大島産サクユリの交配システムと送粉者

9:15-9:30 1a02☆ *▼下川悟史¹, 村上哲明¹(¹首都大・牧野) ハコネウツギの花色変化によって生じる色のコントラストが送粉昆虫に与える影響

9:30-9:45 1a03☆ *番場大¹・青木誠志郎²・高山浩司³・伊藤元巳²・宮正樹⁴・梶田忠⁵(¹千葉大・理; ²東大・院・総合文化; ³東大・総合博; ⁴千葉県博; ⁵千葉大・院・理) 海浜土壌におけるマメ科植物の根粒菌相の解析

【座長 樋口正信】

9:45-10:00 1a04☆ *片桐知之¹・水谷正美²(¹広島大・院・理; ²服部植物研) コケ植物タイ類 *Plagiochasma appendiculatum* は日本にも分布する

10:00-10:15 1a05☆ *井上侑哉¹・坪田博美¹(¹広島大・院・理) 日本産閉鎖果蘚類コゴケ属ツボゴケ亜属(センボンゴケ科)の分子系統解析と胞子嚢の形態比較

10:15-10:30 <休憩>

【座長 瀬戸口浩彰】

10:30-10:45 1a06☆ *木村拓真¹・山田孝幸²・▼阪口翔太³・伊藤元己³・牧雅之⁴(¹東北大・院・生命; ²科博・分子生物多様性; ³東大・総合文化; ⁴東北大・植物園) 伊豆諸島におけるアキノキリンソウ属植物の複数回移入と遺伝的分化

10:45-11:00 1a07☆ *山本崇¹・高山浩司²・永嶋礼子¹・立石庸一³・梶田忠¹(¹千葉大・院・理; ²東大・博; ³琉球大・教育) 汎熱帯海流散布植物ハマアズキの系統地理学的研究

11:00–11:15 1a08[☆] *▼福田知子¹・A. A. Taran²・V. V. Yakubov³・高橋英樹⁴・池田博⁵(¹科博・植物; ²サハリン植物園; ³ウラジオストク生物土壤研; ⁴北大・総合博; ⁵東大・総合博) チシマイワブキ属 *Rotundifolia* 節 (ユキノシタ科) 4 種の系統関係

11:15–11:30 1a09[☆] * Gutiérrez-Ortega José Said¹・Kajita Tadashi¹・Tsuda Yoshiaki¹・Vovides Andrew²・Pérez-Farrera Miguel-Ángel³・Molina-Freaner Francisco⁴(¹Chiba Univ.; ²Instituto de Ecología; ³Univ. de Ciencias y Artes de Chiapas; ⁴Univ. Nacional Autónoma de México) Phylogeography and clade divergence of the Neotropical cycad genus *Dioon* (Zamiaceae): implications for taxonomy and conservation

【座長 梶田忠】

11:30–11:45 1a10[☆] * Qingxiang Han¹・Yuki Mitsui²・Hiroyuki Higashi¹・Hiroaki Setoguchi¹(¹Kyoto Univ.; ²Tokyo Univ. of Agriculture) Contrasting phylogeographic patterns and demographic history between mainland and Ryukyu Islands populations of wild radish in Japan

11:45–12:00 1a11[☆] *▼大槻達郎¹・瀬戸口浩彰¹(¹京大・院・人環) 湖岸環境に適応した海浜植物ハマエンドウの進化の歴史

12:00–12:15 1a12[☆] * 江口悟史¹・田村実¹(¹京大・院・理・植物) Fossilized Birth-Death モデルを用いた単子葉植物の分岐年代推定

12:15–13:15 <昼休み>

ランチョンセミナー

【座長 上野雄規】

12:50–13:10 L1 * 門田裕一¹・三浦憲人²(¹科博・植物; ²ホシザキ野生生物研) 宮城県産アザミ属トオノアザミ群(キク科)の2新種

【座長 土金勇樹】

13:15–13:30 1p01[☆] * 高橋紀之¹・西田倫希²・齊藤知恵子¹・保田英洋²・野崎久義¹(¹東大・院・理・生科; ²阪大・超高压電顕セ) 超高压電顕 3D が示す不動性灰色藻 *Glaucozystis* 属外被の形態的多様性と種分類

13:30–13:45 1p02[☆] *▼松崎令¹・豊岡博子¹・原慶明²・野崎久義¹(¹東大・院・理; ²山形大・基盤教育院) コスモポリタン種と同定される日本産氷雪緑藻の不動接合子の複数 DNA 領域を用いた分子系統解析

13:45–14:00 1p03[☆] * 菅澤瑞穂¹・▼松崎令¹・川船かおる¹・高橋紀之¹・野崎久義¹(¹東大・院・理) 群体性緑藻スポンディロモルム科(ボルボックス目) 2 属の新規培養株を用いた比較形態観察と分子系統解析による分類学的研究

【座長 池谷祐幸】

14:00–14:15 1p04[☆] * 明石滯¹・宇野邦彦²・村上哲明¹・奥山雄大²(¹首都大・牧野; ²科博・植物) 花香遺伝子 *LIS* はコチャルメルソウ種群の種分化遺伝子か?

14:15–14:30 1p05[☆] *▼若林智美¹・Stig Andersen²・佐藤修正³・半田佳宏⁴・川口正代司⁴・瀬戸口浩彰¹(¹京大・院・人環; ²Aarhus 大; ³東北大・院・生命; ⁴基生研) 全ゲノム配列を使った日本産ミヤコグサの開花時期多様性に関わる遺伝的背景の比較

14:30–14:45 1p06[☆] * 亀岡慎一郎¹・崎尾均²・阿部晴恵²・瀬戸口浩彰¹(¹京大・院・人環; ²新潟大・農) 日本列島におけるミスミソウの花色多型に着目した集団遺伝構造

14:45–15:00 1p07[☆] * 高橋大樹¹・寺峰孜²・瀬戸口浩彰¹(¹京大・院・人環; ²高知市) マイクロサテライトマーカーを用いたカンアオイ属サカワサイシン節の集団構造解析

15:00–15:15 1p08[☆] * 和氣勇介¹・山城考²・米倉浩司³・牧雅之³(¹東北大・院・生命; ²徳島大・院・ソシオアーツアンドサイエンス; ³東北大・植物園) 栽培ギクとの交雑による野生キク属 3 種における遺伝子プールの汚染

15:15–15:30 <休憩>

【座長 角川洋子】

- 15:30-15:45 1p09[☆] *堀清鷹¹・綿野泰行²・村上哲明¹(¹首都大・牧野; ²千葉大・院・理) 無配生殖種オオベニシダの雑種起源
- 15:45-16:00 1p10[☆] *松本由里香¹・海老原淳²・今市涼子¹(¹日女大・理・物生; ²科博・植物) カラクサシダ(ウラボシ科)独立配偶体集団の成立背景
- 16:00-16:15 1p11[☆] *藤原泰央¹・上原歩²・北島潤一³・岩科司⁴・松本定⁴・綿野泰行¹(¹千葉大・院・理; ²慶応大・法; ³昭和薬大; ⁴科博・植物) 日本産ヌリトラノオ(チャセンシダ科)における複数回の異質倍数体化が関与した種形成について
- 16:15-16:30 1p12[☆] *松本めぐみ¹・▼山本薫²・堀清鷹¹・村上哲明¹(¹首都大・牧野; ²埼玉県博) ベニシダ類(オシダ科)における有性生殖種ホコザキベニシダの実体と無配生殖種との交雑

【座長 東浩司】

- 16:30-16:45 1p13[☆] *森絵里菜¹・松本定²・堀清鷹¹・▼山本薫³・綿野泰行⁴・角川洋子¹・村上哲明¹(¹首都大・牧野; ²科博・植物; ³埼玉県博; ⁴千葉大・院・理) オニヤブソテツ類(オシダ科)の有性生殖型と無配生殖型の雑種における無配生殖の遺伝的分離
- 16:45-17:00 1p14[☆] *伊東拓朗^{1, 3}・中村 剛²・國府方吾郎³(¹茨大・連携院・農; ²台湾中央研究院; ³科博・植物) 広義 *Sedum japonicum* (ベンケイソウ科)における分子系統解析を用いた分類学的再検討
- 17:00-17:15 1p15[☆] *梅本巴菜^{1, 5}・Park Chan-Ho²・Fu Cheng-Xin³・横田昌嗣⁴・國府方吾郎^{1, 5}(¹茨大院・農; ²NIBR; ³Zhejiang Univ.; ⁴琉球大・理・海洋自然; ⁵科博・植物) 葉形態比較と分子系統解析によるサキシマエノキ(アサ科)の分類再検討
- 17:15-19:00 ポスター発表(1回目)

3月7日(土)

【座長 牧雅之】

- 8:45-9:00 2a01 *高梨功次郎¹・池田啓²・瀬尾直登¹・平川英樹³・佐藤修正⁴・矢崎一史¹(¹京大・生存研; ²岡山大・植物研; ³かずさ DNA 研; ⁴東北大・院・生命科学) 高山マメ科植物の分布変遷に伴う共生根粒菌ゲノムの水平伝播
- 9:00-9:15 2a02 *藤川凌¹・出田翔²・池田啓³・藤井紀行¹(¹熊本大・院・自然科学; ²熊本大・自然科学; ³岡山大・植物研) 日本産高山植物エゾシオガマの分子系統地理学的研究
- 9:15-9:30 2a03 *奥山雄大¹・永野惇²・八杉公基²・工藤洋²・後藤なな³・菅原敬⁴(¹科博・植物; ²京大・生態研セ; ³NACS-J; ⁴首都大・牧野) RAD-seq 法を用いた超高解像度系統解析:チャルメルソウ属とカンアオイ属を例に
- 9:30-9:45 2a04 *▼岩崎貴也¹・永野惇^{1, 2}・工藤洋¹(¹京大・生態研; ²JSTさきがけ) RAD-Seq 法によるゲノムワイド多型を用いた日本産ミスミソウ属植物についての分子系統地理学的研究
- 9:45-10:00 <休憩>

【座長 内貴章世】

- 10:00-10:15 2a05 *國府方吾郎¹・加藤英寿²・梅本巴菜³・伊東拓朗³・中村剛⁴・村上哲明²・横田昌嗣⁵(¹科博・植物; ²首都大・牧野; ³茨大・院・農; ⁴台湾中央研究院; ⁵琉球大・理) 形態および分子データをもちいた小笠原産マルバケツメクサの分類再検討
- 10:15-10:30 2a06 *宮原隆太¹・大井-東馬哲雄¹・河原孝行²・邑田仁¹(¹東大・理・植物園; ²森林総研) フジバカマとコバノフジバカマの分子系統解析
- 10:30-10:45 2a07 *青木聡志¹・大井-東馬哲雄²・邑田仁²(¹東大・理; ²東大・植物園) コミヤマカタバミおよびその近縁種の系統解析と分類学的再検討

【座長 藤井伸二】

- 10:45-11:00 2a08 *高野温子¹(¹兵庫県博) ナツノタムラソウ(シソ科)のレクトタイプ再選定の提案
- 11:00-11:15 2a09 *高橋和規¹(¹森林総研・関西) コブシ, キタコブシの生育状況に関する比較
- 11:15-11:30 2a10 *織田二郎¹・永益英敏²(¹奈良県香芝市; ²京大・総合博) オオイトスゲ(広義)の種内新分類群
タマキイトスゲ(仮称)
- 11:30-11:45 2a11 *東浩司¹(¹京大・院・理) 対馬における国内希少種の過去の分布記録と現状
- 11:45-12:45 <昼休み>

ランチオンセミナー

【座長 菅原敬】

- 12:20-12:40 L2 *堀井雄治郎¹・佐藤隆¹・黒田久子¹(¹和賀山塊自然学術調査会) 奥羽山脈真昼三山(北真昼岳・音動岳・真昼岳)の特異な植生と検討を要する分類群(中間報告)

【座長 仲田崇志】

- 12:45-13:00 2p01 *▼佐藤博俊¹・田辺晶史²・東樹宏和³(¹京大・生態研; ²水研セ・中央水研; ³京大・院・人環) 外生菌根菌オニイグチ属の進化とその種多様化の起源について～大規模遺伝子配列を用いた分子系統学的研究～
- 13:00-13:15 2p02 *大村嘉人¹・平山裕美子¹・宇野邦彦¹・細矢剛¹・半田信司²(¹科博・植物; ²広島県環境保健協会) 降雪中に含まれる菌類・藻類のメタゲノム解析から示唆される地衣類の散布体動態
- 13:15-13:30 2p03 *野崎久義¹・植木紀子^{2,3}・三角修己⁴・Matthew Herron⁵(¹東大・理; ²中央大・理工; ³東工大・資源研; ⁴山口大・理; ⁵モンタナ大) 初めて南アフリカ以外から採取された *Volvox capensis* Rich & Pocock (1933)
- 13:30-13:45 <休憩>

13:45-14:00 学会賞授与式

【司会 永益英敏】

- 14:00-14:25 学会賞受賞記念講演1 梶田忠(千葉大・院・理) 広域分布する海流散布植物の系統分類・系統地理学的研究
- 14:25-14:50 学会賞受賞記念講演2 上野雄規(東北植物研究会) 標本に基づいた宮城県における植物相の研究史

【司会 池田啓】

- 14:50-15:15 奨励賞受賞記念講演1 保坂健太郎(科博・植物) きのご採集と標本に基づく進化・多様性研究
- 15:15-15:40 奨励賞受賞記念講演2 末次健司(京大・院・人環) 光合成をやめた植物の生き様を覗く
- 15:40-15:50 <休憩>
- 15:50-17:00 総会
- 17:00-18:30 ポスター発表(2回目)
- 18:30-20:30 懇親会(福島大学生協)

3月8日(日)

【座長 海老原淳】

- 8:45-9:00 3a01 *藤浪理恵子¹・高木笙子¹・今市涼子¹(¹日女大・理・物生) シダ植物小葉類と大葉類の頂端細胞型RAM(根頂端分裂組織)の分裂動態比較
- 9:00-9:15 3a02 *松本定¹(¹科博・植物園) ムニンオニヤブソテツ×オニヤブソテツ(ウスバオニヤブソテツ)発見とその意義

9:15-9:30 3a03 *山川傑¹・高山浩司²・Nazre Saleh³・新村芳美¹・Alison Wee Kim Shan⁴・朝川毅守¹・Orlex Baylen Yllano⁵・Severino Garengo Salmo III⁶・Erwin Riyanto Ardli⁷・Nguyen Xuan Tung⁸・Norhaslinda Binti Malekal⁹・Onrizal¹⁰・Sankararamasubramanian Halasya Meenakshisundaram¹¹・Sarawood Sungkaew¹²・Bayu Adjie¹³・Khin Khin Soe¹⁴・Edward L. Webb⁴・Shigeyuki Baba¹⁵・綿野泰行¹・梶田忠¹(¹千葉大・院・理; ²東大・博物館; ³Univ. Putra Malaysia; ⁴National Univ. of Singapore; ⁵Adventist Univ. of the Philippines; ⁶Univ. Malaysia Sabah; ⁷Jenderal Soedirman Univ.; ⁸Hanoi National Univ. of Education; ⁹Ateneo de Manila Univ.; ¹⁰Univ. Sumatera Utara; ¹¹M.S. Swaminathan Research Foundation; ¹²Kasetsart Univ.; ¹³Bali Botanic Garden, Indonesia; ¹⁴Univ. of Yangon; ¹⁵琉球大・教育) 汎熱帯マングローブ植物ミミモチンダ属の分子系統地理

【座長 田中伸幸】

9:30-9:45 3a04 *永益英敏¹・高野温子²(¹京大・総合博; ²兵庫県博) ボルネオの固有属 *Myxochlamys*(ショウガ科)

9:45-10:00 3a05 *馬場由実子^{1,2}・Darren Crayn¹(¹Australian Tropical Herbarium; ²高知県植) オーストラリア産ホルトノキ, *Elaeocarpus obovatus* 群の分類学的再検討

10:00-10:15 3a06 *▼田金秀一郎¹・遠山弘法¹・矢原徹一¹(¹九大・院・理) 2011-2015 年の東南アジアの植物インベントリーで得られた植物とその標本について

10:15-10:30 <休憩>

【座長 西田佐知子】

10:30-10:45 3a07 *東隆行¹(¹北大・フィールド科学セ) 絶滅危惧種ヒダカミセバヤの集団遺伝解析

10:45-11:00 3a08 *瀬戸口浩彰¹・且原真木²・山下純²・三井裕樹³・小野俊朗⁴(¹京大・人環; ²岡山大・資植研; ³東農大・農; ⁴岡山大・生命研) ハマダイコンの放射性セシウム吸収能力の評価

11:00-11:15 3a09 *河原孝行¹・平岡裕一郎²・渡辺敦史³・小岩俊行⁴・滝智久¹・田端雅進¹(¹森林総研; ²森林総研・林木育種セ; ³九大・農; ⁴岩手県林業技術セ) ウルシの性表現と遺伝的多様性

11:15-11:30 3a10 秦大二郎¹・東広之²・Valentin Yakubov³・Vyacheslav Barkalov³・*池田啓⁴・瀬戸口浩彰²(¹京大・総・人; ²京大・院・人環; ³ロシア科学アカデミー; ⁴岡山大・植物研) エゾツツジ *Therorhodium camtschaticum* の系統地理と北太平洋地域における分布形成の歴史

【座長 村上哲明】

11:30-11:45 3a11 *高橋佑磨¹・高倉耕一²・河田雅圭³(¹東北大・学際研; ²滋賀県大・環境; ³東北大・生命) 色彩特異的な繁殖干渉をもたらす花色の空間パターン

11:45-12:00 3a12 *柿嶋聡^{▼1}・高橋尚也²・渥美宏太²・吉村仁¹(¹静岡大・創造院; ²静岡大・院・工) 6年周期一斉開花の進化における繁殖干渉仮説の格子シミュレーションを用いた検証

12:00-12:15 3a13 *西田佐知子¹・高倉耕一²・西田隆義²(¹名大・博; ²滋賀県大・環境科学) 伊豆タンポポの繁殖干渉

12:15-12:30 3a14 *山田敏弘¹・佐々木悠介¹・Charles S Gasser²(¹金沢大・理工; ²MCB, Univ. of California) 前裸子植物における Class III Homeodomain-Leucine Zipper 遺伝子の“機能解析”

12:30-13:30 <昼休み>

ランチョンセミナー

【座長 山田敏弘】

13:05-13:25 L3 *高橋正道¹(¹新潟大・自然科学系) 福島県広野町に咲いていた白亜紀の花々(上北迫植物化石群) — 第30回国際生物学賞受賞者 クレイン教授との共同研究 —

公開シンポジウム「これからの標本室～ハーバリウムの管理・運営や情報発信, 利用に関する新しい流れ」

- 13:30-13:40 兼子伸吾(福島大・理工) シンポジウム「これからの標本室」開催にあたって
- 13:40-14:10 海老原淳(科博・植物) 21世紀のハーバリウム運営～国立科学博物館の挑戦～
- 14:10-14:40 志賀 隆(新潟大・教育) その標本のタネ,生きてますよ!:標本種子を用いた絶滅集団復元の試み
- 14:40-14:50 <休憩>
- 14:50-15:20 細矢剛(科博・植物) なまものと標本がつなぎ広げる菌類分類学～菌類資料の特徴とその活用
- 15:20-15:50 黒沢高秀(福島大・理工) 公的標本室をつくらう ～つくる人, 寄贈する人, 支える人～
- 15:50-16:20 総合討論

ポスター発表一覧

3月6日(金)17:15-19:00

3月7日(土)17:00-18:30

- P01☆ *横山佳菜¹・関本弘之¹・鈴木穰²・西山智明³・▼土金勇樹¹(¹日女大・理; ²東大・院・新領域; ³金沢大・学際) 自殖するミカヅキモにおける性決定遺伝子 *Cpminus1* の機能解析
- P02☆ *五十島賢太¹・辻田有紀²・今市涼子³・樋口正信⁴・牧雅之¹(¹東北大・植物園; ²佐賀大・農; ³日女大・理; ⁴科博・植物) ナンジャモンジャゴケは共生菌を持つか? 一茎の内外に見られる密な菌感染
- P03☆ *▼大槻涼^{1,2}・関本弘之²・三澤計治³(¹駒澤大・総合教育; ²日女大・理・物質生物科学; ³理化学研・情報基盤セ) ヤブソテツにおける葉緑体全長配列の解読
- P04☆ *▼山本薫¹・加藤英寿²・村上哲明²(¹埼玉県博; ²首都大・牧野) 伊豆大島の混生集団におけるベニシダ類の無配生殖型と有性生殖型の競争の程度
- P05☆ *田中啓介¹・矢嶋俊介²・高原美規³(¹東京農大・生物資源ゲノム解析セ; ²東京農大・応用生物; ³長岡技術科学大) 次世代シーケンサーを利用したニガナ植物のトランスクリプトーム解析 開花前後の子房の中では何が起きているか?
- P06☆ *山路風太¹・朝川毅守¹(¹千葉大・理) キツネノカミソリ3変種における花形態と訪花昆虫の比較
- P07☆ *Avelinah Julius^{1,2}・Atsuko Takano³・Ortega Gutierrez Jose Said¹・Tadashi Kajita¹(¹Department of Biology, Graduate School of Science, Chiba Univ.; ² Forest Research Institute Malaysia; ³ Museum of Nature and Human Activities, Hyogo) Molecular Phylogenetic Analysis on the genus *Plagiostachys* (Zingiberaceae)
- P08☆ *伊藤光沙¹・辻田有紀²・遊川知久³・牧雅之¹(¹東北大・植物園; ²佐賀大・農; ³科博・植物) 絶滅危惧種クゲスマランの地理的遺伝分化と共生菌相の解明
- P09☆ *齋藤雄介¹・藤井伸二²・Myon Gi Chung³・李尚龍¹・牧雅之¹(¹東北大・植物園; ²人間環境大; ³Gyeongsang National Univ.) 日本と韓国におけるカキランの地理的遺伝分化
- P10☆ *山下由美^{1,2}・山下俊之¹・木下晃彦³・辻田有紀⁴・黒沢高秀²・遊川知久³(¹奥羽大・薬; ²福島大・理工; ³科博・植物; ⁴佐賀大・農) 日本産ラン科サカネラン属(広義)種子の形態と散布様式の進化を探索
- P11☆ *▼早川宗志¹・大橋謙太郎²・薄井優悟²・西田智子¹・横山潤³(¹農環研; ²山形大・院・理工; ³山形大・理) ラン科ツクバキンランの自殖性について
- P12☆ *坂本彰¹・瀬尾明弘²・藤川和美²(¹放送大・院; ²牧野植物園) バイカオウレンの形態と遺伝的変異について
- P13☆ *山崎連¹(¹千葉大・院・理) オオバウマノスズクサとタンザワウマノスズクサにおける送粉昆虫相の比較
- P14☆ *新田竜斗¹・村上哲明¹・加藤英寿¹(¹首都大・牧野) 小笠原産固有種ヒメフトモモにおける種内倍数性と形態的多様性
- P15☆ *小野潤哉¹・Mohd Nazre Bin Saleh²・Alison K. S. Wee³・高山浩司⁴・朝川毅守¹・Sankararamasubramanian Halasya Meenakshisundaram⁵・Khin Khin Soe⁶・Orlex Baylen Yllano⁷・Severino Garengo Salmo III⁸・Norhaslinda Binti Malekal⁹・Nguyuen Xuan Tung¹⁰・綿野 泰行¹・馬場 繁幸¹¹・Edward L. Webb³・梶田 忠¹(¹

千葉大・院・理; ²Faculty of Forestry, Putra Malaysia Univ.; ³Department of Biological Science, National Univ. of Singapore; ⁴東大・総合博; ⁵Biotechnology Programme, M. S. Swaminathan Research Foundation; ⁶Department of Botany, Univ. of Yangon; ⁷Biology Department, College of Sciences and Technology, Adventist Univ. of the Philippines; ⁸Department of Environmental Science, School of Science and Engineering, Ateneo de Manila University; ⁹Institute for Tropical Biology and Conservation, Univ. Malaysia Sabah; ¹⁰Mangrove Ecosystem Research Centre, Hanoi National Univ. of Education; ¹¹琉球大・熱研セ) 分子系統解析が示唆したマングローブ植物の絶滅危惧種 *Bruguiera hainesii* が雑種である可能性

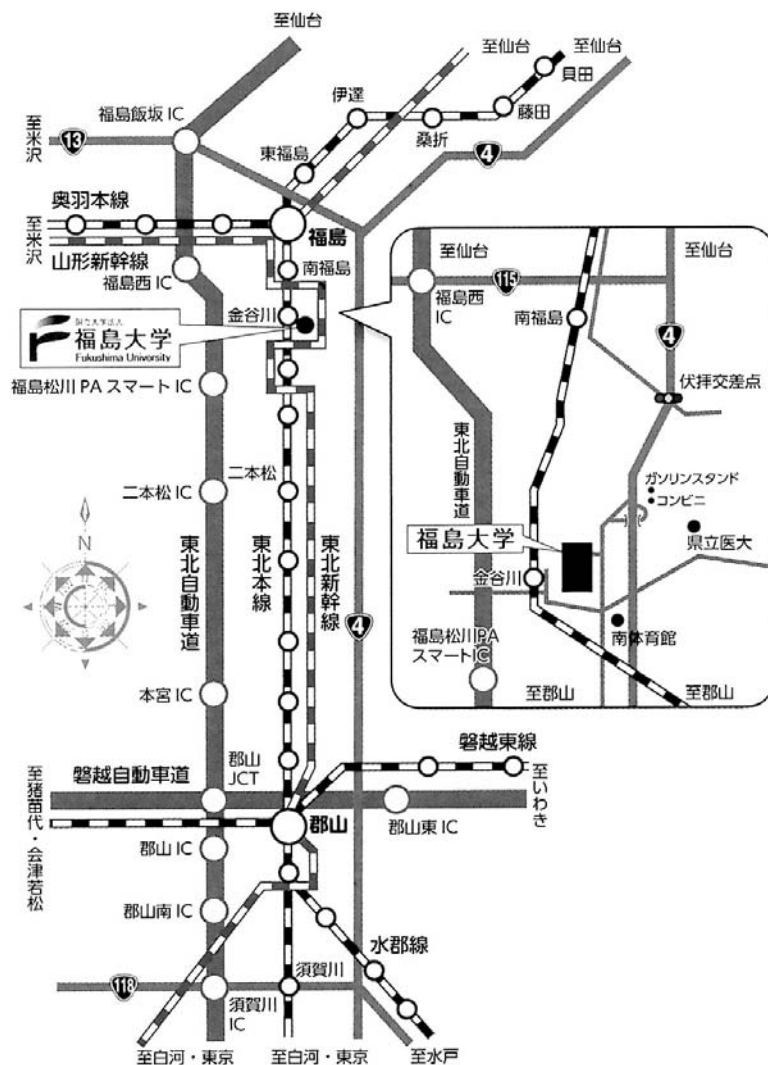
- P16☆ *須貝杏子¹・鈴木節子¹・永光輝義¹・加藤英寿²(¹森林総研; ²首都大・牧野) 小笠原諸島におけるアカテツとコバノアカテツの葉形変異と遺伝構造
- P17☆ *加藤沙織¹・水澤玲子²・黒沢高秀³(¹福島大・院・理工; ²福島大・人間; ³福島大・院・理工) ネムノキにおける頂生花と側生花の機能を探る
- P18☆ *須藤真由¹・須山知香^{1,2}・猪狩雅史³・植田邦彦⁴(¹岐阜大・教育; ²金沢大・院・自然科学; ³オフィスメイプル; ⁴金沢大・理工) SSRs 解析でタチツボスミレ節とその関連種の系統関係を考察する
- P19☆ *山田龍之介¹・須山知香^{1,2}・猪狩雅史³・中川愛梨^{1,4}・日比野恵子^{1,5}・植田邦彦⁶(¹岐阜大・教育; ²金沢大・院・自然科学; ³オフィスメイプル; ⁴高浜市立高浜小学校; ⁵可児市立蘇南中学校; ⁶金沢大・理工) タチツボスミレ類の分子系統学的解析
- P20☆ *吉田政敬¹・横山潤²(¹山形大・院・理工; ²山形大・理) シハイスミレ(狭義)の系統地理
- P21☆ *片山なつ¹・加藤雅啓²・今市涼子¹(¹日女大・理; ²科博・植物) 日本におけるカワゴケソウ科植物の生育適地の分布と遺伝的分化
- P22☆ *▼渡辺洋一¹・松木悠²・陶山佳久²・戸丸信弘³・伊藤元己¹(¹東大・院・総合; ²東北大・院・農; ³名大・院・生命農) 溪畔適応したツツジ属低木 2 種の進化と異所的分布の成立過程
- P23☆ *武田奈々¹・白鳥秀一¹・長瀬大¹・▼下川悟史²・清水晃³・芹沢俊介⁴・常木静河¹(¹愛教大・生物; ²首都大・牧野; ³首都大・自然史; ⁴愛知みどりの会) クワガタソウ属の花の形と訪花昆虫の行動
- P24☆ *石田悠理奈¹・須山知香¹, ²(¹岐阜大・教育・理科教育(生物); ²金沢大・院・自然科学) マツムシソウとミカワマツムシソウの P/O 比と自生地における結実率
- P25☆ *喜屋武隆太¹・山城考²・藤井伸二³・坂口翔太⁴・伊藤元己⁴・牧雅之⁵(¹東北大・院・生命; ²徳島大・ソシオ・アート・アンド・サイエンス; ³人間環境大・人間環境; ⁴東大・総合文化; ⁵東北大・植物園) アオヤギバナは広い分布域をどのように獲得したか
- P26☆ *成田あゆ¹・成田智史²・中浜直之²・伊津野彩子²・田中健文³・小牧義輝³・井鷲裕司²(¹京大・農; ²京大・院・農; ³東大・小石川植物園) 小笠原諸島固有希少植物の比較保全遺伝学 I -コヘラナレン・アサヒエビネ・シマカコソウ-
- P27☆ *森脩祐¹・川窪伸光¹(¹岐阜大・応生) 降雨に適応した開花・開葯の解析
- P28☆ *渡邊祐紀¹・齋藤若菜²・黒沢高秀³(¹福島大・院・理工; ²福島大・人間; ³福島大・理工) 復旧の進む福島県北部の津波被災地に設けられた数箇所の海岸湿地保護区の植物相と植生
- P29☆ *齋藤若菜¹・渡邊祐紀²・黒沢高秀³(¹福島大・人間; ²福島大・院・理工; ³福島大・理工) 福島県相馬市小泉川・宇多川河口に震災後新しくできた約 20 ha の塩性湿地・干潟の植物
- P30☆ *平澤優輝¹・港翼²・志賀隆¹, ²(¹新潟大・院・教育; ²新潟大・教育) 標本作製・保存方法・時間経過が種子生存に与える影響
- P31 *糟谷大河¹・御山右貴¹・保坂健太郎²(¹千葉科学大・危機管理; ²科博・植物) 石川県において「白松茸」と呼称される野生食用きのこの分類学的検討
- P32 *吹春俊光¹・清水公德²(¹千葉県博; ²千葉大・真菌セ) 北海道で採取された新種の糞生菌類 *Coprinopsis igarashii* (担子菌類, ハラタケ目, ナヨタケ科)
- P33 *北山太樹¹・鈴木まほろ²(¹科博・植物; ²岩手県博) 陸前高田市立博物館の被災標本から読み取る鳥羽源蔵

の海藻研究

- P34 * 仲田崇志¹, ²・大田修平³(¹慶大・政策メディア・先端生命; ²慶大・先端生命研; ³東大・院・新領域) アカヒゲムシ(*Haematococcus*; 緑藻綱, オオヒゲマワリ目)の異名整理と正名の合意形成に向けて
- P35 * ▼鈴木雅大¹・北山太樹²・馬場将輔³・川向聖子⁴(¹東大・院・理; ²科博; ³海洋生物環境研; ⁴山田町教委・生涯学習課) 現存する標本に基づく岩手県下閉伊郡山田町産海藻目録
- P36 * ▼小栗恵美子¹・正田いずみ¹・坂本雄司¹・井上侑哉¹・片桐知之¹・嶋村正樹¹(¹広島大・院・理・生物科学) 日本産ゼニゴケ類の遺伝的多様性
- P37 * 樋口正信¹(¹科博・植物) 中国横断山脈のコケ植物相の研究 1. イトヒバゴケ科
- P38 飯塚佳凜¹・*角川洋子¹・堤千絵²(¹首都大・牧野; ²科博・植物) ヤシャゼンマイにおける溪流帯への適応様式
- P39 * 芹沢俊介¹・辻寛文²・南谷明穂³・加藤淳太郎³(¹愛知みどりの会; ²大分県中津南高; ³愛教大・生物) 大分県で発見されたイワガネソウ属の新2倍体種
- P40 * ▼阪口翔太¹・堀江健二²・石川直子¹・永野惇³, ⁴・本庄三恵³・工藤洋³・伊藤元己¹(¹東大・院・総合; ²旭川市北邦野草園; ³京大・生態研; ⁴JST・さきがけ) 北海道蛇紋岩地帯におけるアキノキリンソウ属植物の土壤エコタイプ形成
- P41 * 中屋敷徳¹・渥美聡孝²・川上新一³・出羽厚二¹(¹岩手医大・医・法医; ²九州保健福祉大・薬・生薬; ³山形県博) レイジンソウ亜属植物の分子生物学的分析
- P42 * 田中法生¹・山田勝雅²・仲岡雅裕³(¹科博・植物; ²水総研セ・西海区; ³北大・フィールド科学セ) 東北地方太平洋沖地震によるアマモ類群落の攪乱と回復過程における遺伝的多様性の変動
- P43 * 森本苑良¹・酒井菜々子²・藤井満里奈²・中島建²・竹内鴻太郎²・芹沢俊介³・渡邊幹男¹(¹愛教大・院; ²刈谷高・SSH部; ³愛知みどりの会) 国指定天然記念物刈谷市小堤西池のカキツバタ群落の現状と保全
- P44 * 高橋一臣¹・志内利明¹(¹富山県植) カンザンチク(メダケ属リュウキュウチク節)の葉の表皮構造
- P45 * 正木智美¹・Marcia J. Waterway²・星野卓二¹(¹岡山理大・生地; ²McGill Univ.) スゲ属シロイトスゲ類の系統地理学的研究
- P46 * 矢野興一¹・伊藤優², ³・池田博³・Jeremy J. Bruhl⁴・Karen L. Wilson⁵(¹岡山理大・生地; ²カンタベリー大; ³東大・総合博; ⁴ニューイングランド大; ⁵シドニー王立植物園) ノグサ属ノグサ(カヤツリグサ科)の系統進化
- P47 * Mu Mu Aung¹・田中伸幸²・三宅尚³(¹高知大・院・総人自; ²牧野植物園; ³高知大・理) Studies on Zingiberaceae in Myanmar: New or noteworthy species of Zingiber
- P48 * 内貴章世¹・須貝杏子²・安藤朋恵³・小川遼⁴・古本良⁵・池田明彦⁶・大谷雅人⁵・指村奈穂子¹・横川昌史⁷(¹琉球大・熱生研; ²森林総研; ³倉敷市立菅生小; ⁴総社市立総社中央小; ⁵森林総研・林育セ; ⁶品川区公園課; ⁷大阪自然史博) クロボウモドキ(ハンレイシ科)の遺伝的多様性
- P49 * 鈴木まほろ¹(¹岩手県博) ヤマガラシ属の不明帰化種について
- P50 * 池谷祐幸¹・間瀬誠子¹・八重垣英明¹・澤村豊¹・末貞佑子¹・山本俊哉¹(¹農研機構果樹研) 日本の野生化モモと栽培モモの遺伝的關係
- P51 * 山本将也¹・倉田薫子¹(¹横国・院) 絶滅危惧植物チチブイワザクラの訪花昆虫と花器形態
- P52 * 倉田薫子¹・山本将也¹・尾嶋康行²・(¹横国大・院・教育; ²東都大・自然) コイワザクラ節 (sect, *Reinii*, PRIMULACEAE) の花粉形態による分類学的考察
- P53 * 勝木俊雄¹・清水晶子²・池田博²(¹森林総研; ²東大・博) 日本と周辺地域から記載されたサクラ属植物のタイプ標本の現況
- P54 * 瀬尾明弘¹・前田綾子¹・松野倫代¹・藤川和美¹(¹高知県植) 日本産イノコヅチ属の分子系統学的研究
- P55 * 黒沢高秀¹・山下由美^{1,2}・兼子伸吾¹(¹福島大・理工; ²奥羽大・薬) 毎日観察するとわかることがある ～トウダイグサ属における杯状花序の開花タイミングの妙と多回型同調的雌雄異熟性の分布～
- P56 * 首藤光太郎¹・兼子伸吾²・黒沢高秀²(¹福島大・院・理工; ²福島大・理工) 部分的菌従属栄養植物イチヤクソウ属で生じた段階的な葉の縮小進化

- P57 *高野温子¹(¹兵庫県博) 日本産アキギリ属の分子系統解析2
- P58 *白鳥秀一¹・常木静河¹・花井隆晃²・清田佳奈³・芹沢俊介⁴(¹愛教大・生物; ²テクノ中部; ³トヨタ自動車; ⁴愛知みどりの会)本州中部におけるマツムシソウ頭花形態の地理的変異
- P59 *大井-東馬哲雄¹・渡邊-東馬加奈²・根本秀一³・出野貴仁¹・邑田仁¹(¹東大・理・植物園; ²私立武蔵高中; ³福島大・院・理工) キク科コウヤボウキ属の一雑種イワキハグマの起源
- P60 *▽阪口翔太¹・杉野壮²・Michael Crisp³・永野惇^{4, 5}・本庄三恵⁴・工藤洋⁴・津村義彦⁶・伊藤元己¹・井鷲裕司²(¹東大・院・総合; ²京大・院・農; ³オーストラリア国立大; ⁴京大・生態研; ⁵JST・さきがけ; ⁶筑波大・院・生命環境) 高密度連鎖地図上でのヒノキ科 *Callitris* 属のゲノム分化推定
- P61 *松田明莉¹・稲富智洋¹・川上敬弘²・藤井伸二³・中山祐一郎¹・西野貴子¹(¹大阪府立大・理; ²大阪府大・院・生命環境; ³人環大) サワシロギク *Aster rugulosus* Maxim. は蛇紋岩土壤に移入できるか
- P62 *石川直子¹・森下洋子¹・▽阪口翔太¹・伊藤元己¹(¹東大・院・総合) 蛇紋岩植物の進化—シユンジュギクとミヤマヨメナの遺伝構造解析
- P63 *鈴木武¹・木村進²・小川誠³・狩山俊悟⁴・布谷知夫⁵(¹兵庫県博; ²大阪自然環境保全協会; ³徳島県博; ⁴倉敷市自然史博; ⁵三重県総合博) タンポポ調査・西日本 2015 について
- P64 *田中徳久¹・大西亘¹・勝山輝男¹(¹神奈川県博) サヴァチェが採集した植物標本に残る神奈川県内の絶滅植物
- P65 瀬井純雄^{1, 2}・高沢智嗣¹・尾下聖志郎¹・*藤井紀行¹(¹熊本大・院・自然科学; ²NPO 法人阿蘇花野協会) 阿蘇地域の草原再生におけるスギ植林伐採後3年間の植生変化
- P66 *倉田正観¹・伊藤元己¹(¹東大・院・総合博) 阿蘇・久住地域の絶滅危惧植物における系統地理と遺伝的構造
- P67 *遠藤優年¹・首藤光太郎¹・黒沢高秀¹(¹福島大・理工) 裏磐梯桧原湖東部の非植林地帯における泥流上の植物相～未記載種アキタズムシの新産地～
- P68 *志内利明¹・堀田満²(¹富山県植; ²西南日本植物情報研) トカラ地域に固有な植物の分布

会場案内: 福島大学金谷川キャンパス

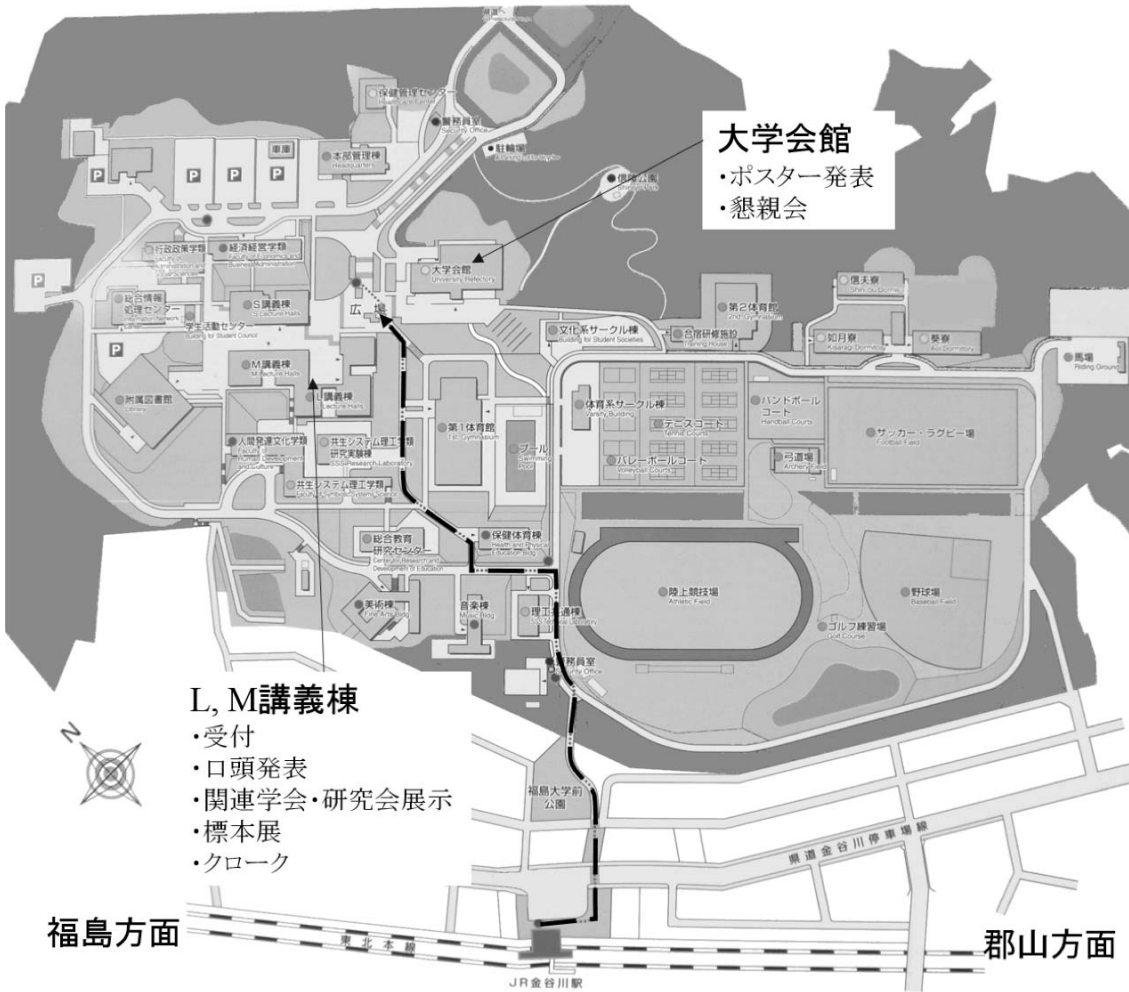


アクセス

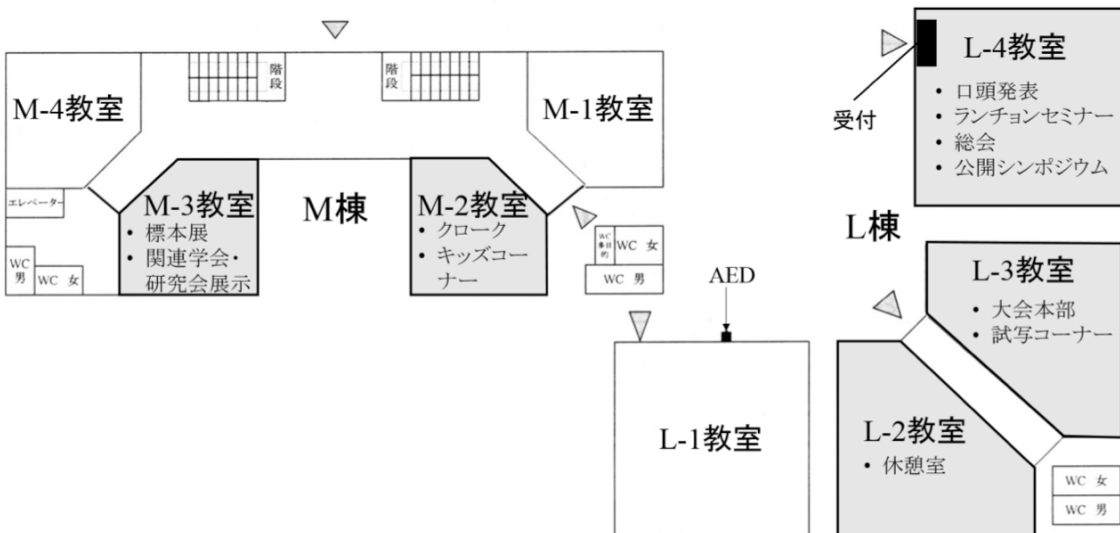
大会会場の福島大学は JR 東北本線金谷川駅 (福島駅から2駅東京側)より徒歩 10 分ほどです。

車での来場も可能です。福島西インターから 30 分, 福島松川 PA インター(ETC 専用)から 15 分ほどです。大学への入り口がわかりにくいのでご注意ください。ゲートで警備員に止められた際は、学会参加者である旨お伝えください。

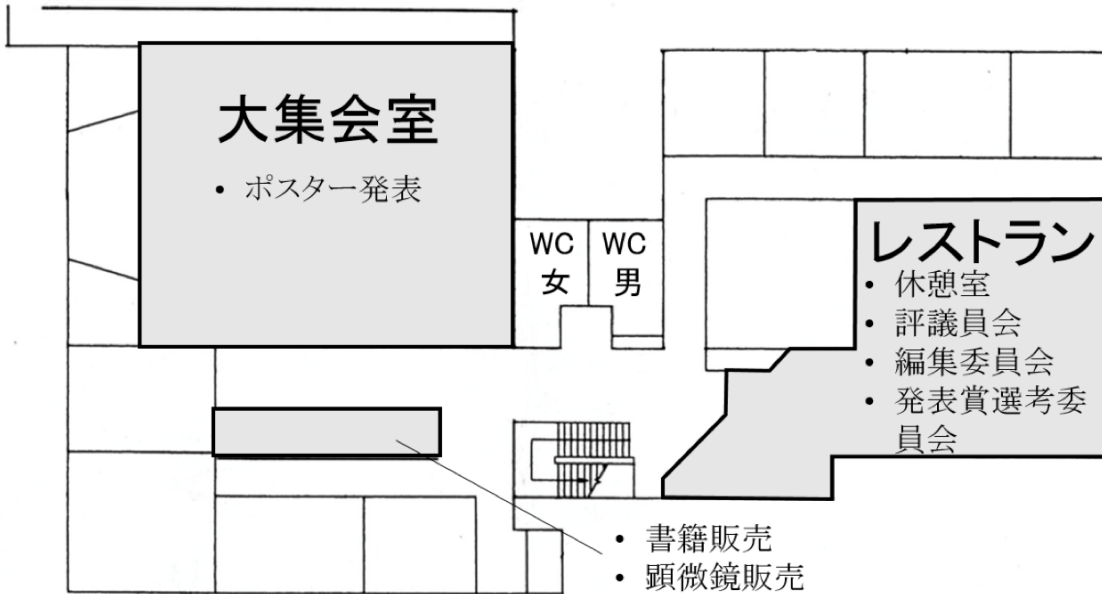
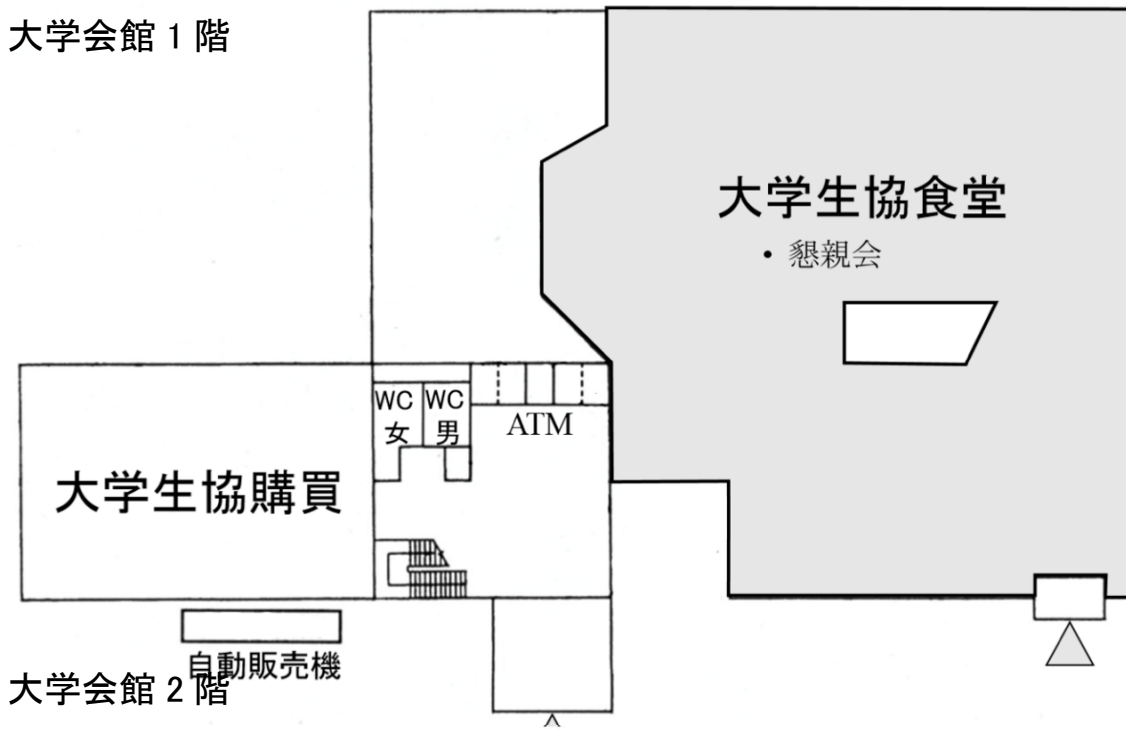
大会会場（福島大学金谷川キャンパス L, M 講義棟, 大学会館）



L, M 講義棟(会場は1階のみ)



大学会館 1 階



大会に参加される方へ

全般

1. キャンパス内は全面禁煙です。
2. 3月6日(金)は前期日程入試の合格発表があります。
3. 今大会では、3月6日、7日、8日ともランチョンセミナーを行います。下記のようにお弁当を買うこともできますが、混雑が予想され、速やかに購入することは難しいと思います。ランチョンセミナーの聴講を希望される方は、あらかじめお弁当を用意したうえで、会場に来られることを推奨いたします。
4. 会期中の平日と土曜日は大学会館1階の生協食堂が短縮営業しています(営業時間 11:00~14:00)。また、数に限りがありますが、日曜も含めて購買書籍店がお弁当を販売しています(営業時間 8:30-17:00)。3月8日(日)のお弁当を予約された方は、受付において引換券と交換でお受け取りください。当日販売は致しません。大学周辺のコンビニエンスストアや飲食店については、当日配布の案内図をご覧ください。
5. 会場内では常に名札を着用してください。
6. クロークは、3月6日と7日は8:30~19:10、最終日の8日は16:40まで使用可能です。貴重品はお預かりできません。
7. 本大会では託児室は設けませんが、子供の遊べる小規模なキッズコーナーをクロークに併設します。クロークの開設時間にご利用いただけます。
8. 口頭発表会場内におけるフラッシュの使用は、周りの方の迷惑になりますので、ご遠慮ください。当大会準備委員会は、今大会における講演(口頭発表およびポスター発表)を、参加者が撮影・記録することによって生じうる、著作権や肖像権に関する法律上の問題について関知しません。
9. 本大会は、できる範囲で環境への負荷を減らした大会にしたいと思います。紙製バッグ、観光パンフレット等の参加者全員への配布は行いませんのでご了承ください。観光パンフレットや市街地地図は、福島駅新幹線改札前の案内所等で手に入ります。マイ・マグカップ、マイ・ボトル(水筒)のご持参を歓迎いたします。
10. お酒等の差し入れを歓迎いたします。当日ご持参の場合は、受付または大会本部にお渡しください。その際、お名前を必ずお伝えください。

口頭発表

1. 発表時間は、講演と質疑応答をあわせて15分です。終了時間の5分前に1鈴、3分前に2鈴、終了時に3鈴を鳴らします。発表中に3鈴が鳴った場合、速やかに発表を中断し、次の発表者と交代してください。
2. 液晶プロジェクターを使用しますが、発表用のパソコンは各自ご用意し、操作も発表者自身で行ってください。会場の液晶プロジェクターとパソコンを接続するケーブルのコネクタは、一般的なもの(D-Sub15ピン、ミニ)です。お持ちのノートパソコンの映像出力端子が異なる場合は、接続アダプタをご自身でご用意ください。
3. 大会本部に試写コーナーを設けますので、動作確認をお願いいたします。
4. 予想外のトラブルに備えて、発表用のファイルのバックアップをUSBメモリー等に入れてお持ちください。

ポスター発表

1. **【重要】**パネルの大きさは、縦175cm×横85.5cmで、A0サイズが掲示できる大きさです。ニューズレターでご案内したサイズより僅かに小さくなりましたので、ご注意ください。
2. ポスターは3月6日13:00までに、ポスター会場の指定された場所に掲示して下さい。会場に準備された押しピン等をご利用ください。
3. 発表賞にエントリーしたポスターの審査は、3月6日のポスター発表時間に行われます。
4. 3月6日、3月7日の17:00-19:00にポスター会場に隣接するレストラングリーンに休憩室を設けますので、ご利用ください。

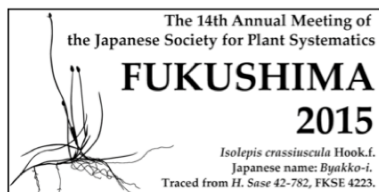
4. ポスターの撤去は、必ず3月8日のシンポジウム終了時間(16:30頃)までに行ってください。

標本室見学・標本調査

3月9日(月)に希望者向けに福島大学共生システム理工学類生物標本室FKSE見学会を行います。見学および標本調査を希望する方は、9時以降に標本室に直接いらっしゃるか、10時にL4教室の受付があった場所に集合してください。集合に遅れた場合や、申し込んでいて急にいけなくなった場合は、024-548-8201に連絡してください。当日参加も歓迎です。参加は無料です。

JR 東北本線時刻表

上り(7:30~16:00)		下り(12:00~22:00)	
福島駅発	金谷川駅着	金谷川駅発	福島駅着
7:35	7:45	12:33	12:43
8:11	8:22	13:17	13:28
8:43	8:54	14:16	14:26
9:37	9:47	14:45	14:55
10:28	10:38	15:30	15:40
11:04	11:14	16:16	16:27
11:34	11:44	16:49	16:59
12:26	12:35	17:21	17:31
13:30	13:40	17:51	18:02
14:20	14:29	18:22	18:32
15:04	15:14	18:54	19:04
15:58	16:08	19:18	19:28
		20:20	20:31
		20:55	21:05
		21:31	21:41



日本植物分類学会第14回大会(福島大会)および公開シンポジウム
 事前配布プログラム 2015年2月20日 現在
 作成: 日本植物分類学会第14回大会準備委員会
 〒960-1296 福島市金谷川1 福島大学共生システム理工学類
 TEL: 024-548-8201 e-mail: jsp2015fukushima@gmail.com
http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/~kurosawa/JSPP_fukushima2015/home.html